



6月泥んこ遊び

にじ組 うさぎ組 NO.4



小学校

雨が降った日、外を眺めながら「明日は泥んこ遊びできる!!」「どんな泥になってるかな?」とつぶやく子どもたちです。雨の日は外で遊べなくて残念…と今までは思っていたが、泥んこの楽しさを知ってからは、雨でもわくわくした気持ちになるようです。



数量や図形などへの関心・感覚

ほんまや!!
一応水も持ってきたよ

言葉による伝え合い



ここの土いい感じ

泥団子づくりに必要な泥を、水を調節しながら作っています。「昨日の泥ちょうどよかったよな～」と昨日の感触を思い出しながら友達と一緒に会話しながら思い出していました。泥の粘度、泥と水の割合を少しずつ水を掛けたり、手に水をつけて泥をこねたりしていました。遊びながら水の量を考えて調節しています。

健康な心と体

自立心

ある日の雨上がり、「先生、裸足になってもいい?」という一言から、泥んこ遊びが始まりました。泥の感触や、温度、水を加えた時に変化する感覚も感じながら遊んでいます。



泥は少し温かい!
水を入れると冷たいね

5歳

どんなところが小学校につながっているか

- ・土、水の感触や土に水が含まれた時の感触（生活科）
 - ・水の量を調節しながら、泥の変化を楽しむ（算数・理科）
 - ・遊びながら気付いたことを友達同士伝え合う（国語）
- などにつながっていますよね～!
※幼児期の経験は勉強を習う時に思い出したりきっかけになったりするそうです。

思考力の芽生え

豊かな感性と表現

それぞれ、園庭・砂場・きらきらパークで作った泥団子を並べ、比べてみると……。形だけでなく感触が全く違いました。同じ日に作ってもそれぞれ使う泥によって出来上がりが全く違って面白いですね。同じ泥団子でも“ふわふわ”と表現する子もいれば“ぷにぷに”と表現する子もいました! 「さら粉付けたら固まるかな?」と試行錯誤しながら泥団子づくりを楽しんでいます。

さら粉をつけてみたよ



ふわふわな感じ

つるつるしてるよ

泥団子につけてみたい



さら粉を作ろう

ぷにぷにしてる
チョコレートみたい



自然との関わり

雨が降った2日後、「あれ?泥がぷにぷになってる!」と太陽が当たって泥の感触が変わっていることに気がきました。雨の降る量、太陽の当たり具合で毎日変化する泥に不思議さを感じていました。砂場にはない自然にできる楽しさを味わっていたようです。



ここ、修理しないとあかん

思考力の芽生え

樋を並べて、水を流すピタゴラ装置を作っています。でも水が途中で漏れるようで・・・「どこで漏れるんだろう?」「ここやわ!」と考えながら作っています。高低差やつなぎ方は、気づきの芽生えの段階です。



水汲むのが楽しい～!

豊かな感性と表現

はじめは、汚れるの嫌だなあ、どろどろになりそう・・・というイメージをもって、なかなか遊びにはいりにくい様子でした。しかし、やってみると「おもしろい!」「ピザみたい」「アンパンマンの顔!」と子どもたちが笑顔で遊ぶ姿が! 感触を十分に味わったり、自由に表現したりして遊んでいます。



触ってみると、トランポリンみたい
できもちいい～!



4歳

言葉による伝え合い

「ここ持っといて」「これこうしたら?」と友達同士で相談する場面もたくさん見られるようになってきました。自分の思いだけでなく、友達の思いに耳を傾けながら、時には気持ちに折り合いをつけながら関わって遊んでいます。

自然との関わり

水を汲んでは流し、汲んでは流し・・・「わ～!水流れていく!」「あれ!止まってるなあ」と水の流れや水を入れると泡だつ不思議さを見たり、泥や土、砂の感触を味わったりしています。

水、めっちゃ流れてるね!



どろんこで足が抜けにくいよ

